

第70期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P OUGグループの食品加工事業会社のご紹介
ダイワサミット株式会社・株式会社トウニチ水産



代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第70期第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成27年12月

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復にはもたつきがみられますが、企業業績の回復や、雇用・所得環境、設備投資などの改善がみられ、個人消費の回復は鈍いものの、緩やかな回復基調にありました。消費者心理は雇用環境の改善などを背景として上向きつつありますが、物価上昇による実質所得の目減りから日用品を中心に節約志向が依然として続き、消費者の購買行動は多様化してきております。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は円安および国際競争の激化などにより、調達コストが上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,566億14百万円（前年同四半期比101.3%）となりました。損益面では、売上総利益は108億77百万円（前年同四半期比106.0%）となり、営業利益4億23百万円（前年同四半期比381.3%）、経常利益5億47百万円（前年同四半期比298.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億3百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失87百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は上昇したものの取扱数量の減少などにより売上高994億14百万円（前年同四半期比99.9%）となりましたが、売上総利益率の上昇および間接経費全般の節減によりセグメント利益6億27百万円（前年同四半期比275.4%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売数量の増加、販売単価の上昇などにより売上高569億43百万円（前年同四半期比104.8%）、仕入コストの上昇や市況の変動などによる売上総利益率の低下および販売費の増加によりセグメント損失3億96百万円（前年同四半期はセグメント損失3億59百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売数量は増加したものの販売単価の低下などにより売上高30億71百万円（前年同四半期比99.7%）、餌料価格の上昇による生産コストの上昇などによりセグメント利益1億57百万円（前年同四半期比86.2%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、定塩鮭等の水産物加工の加工生産は伸長しなかったものの米飯加工の販売数量が増加し好調に推移したことにより売上高23億12百万円（前年同四半期比101.4%）となり、生産コストや原材料価格の上昇など利益率の低下によりセグメント損失82百万円（前年同四半期はセグメント損失84百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱数量の増加、当期より連結子会社が1社増加したことにより売上高10億16百万円（前年同四半期比113.7%）、

セグメント損失35百万円（前年同四半期はセグメント損失42百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、当期より連結子会社が1社増加したことなどにより売上高26億5百万円（前年同四半期比107.8%）、セグメント利益52百万円（前年同四半期比299.8%）となりました。

今後の見通しにつきましては、個人消費は、雇用・所得環境の改善はみられるものの、消費者の日常消費に関する節約志向は依然として続き、購買行動は多様化し、先行き不透明な状況にあります。

また、水産物流通業界におきましては、円安および国際競争の激化などにより輸入水産物の調達コストは上昇し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。また、グループ経営基盤の強化を図り、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結業績につきましては、平成28年3月期売上高3,280億円、営業利益11億円、経常利益12億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億50百万円を見込んでおります。

期末の配当金につきましては、1株あたり6円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当第2四半期 (平成27年9月30日現在) | 前第2四半期 (平成26年9月30日現在) | 前 期 (平成27年3月31日現在) |
|-------------|----|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | | | |
| 流動資産 | | 57,803 | 56,502 | 50,826 |
| 現金及び預金 | | 1,965 | 2,211 | 2,054 |
| 受取手形及び売掛金 | | 28,677 | 28,710 | 27,993 |
| 商品及び製品 | | 25,505 | 24,156 | 19,652 |
| 仕掛品 | | 0 | 0 | 0 |
| 原材料及び貯蔵品 | | 330 | 302 | 404 |
| その他 | | 1,539 | 1,397 | 1,018 |
| 貸倒引当金 | | △ 214 | △ 276 | △ 298 |
| 固定資産 | | 23,383 | 21,634 | 22,660 |
| 有形固定資産 | | 11,425 | 11,332 | 11,426 |
| 無形固定資産 | | 3,950 | 3,419 | 3,950 |
| 投資その他の資産 | | 8,006 | 6,882 | 7,283 |
| 投資有価証券 | | 6,363 | 5,935 | 6,317 |
| その他 | | 2,280 | 1,699 | 1,491 |
| 貸倒引当金 | | △ 637 | △ 752 | △ 525 |
| 資産合計 | | 81,187 | 78,137 | 73,486 |

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当第2四半期 (平成27年9月30日現在) | 前第2四半期 (平成26年9月30日現在) | 前 期 (平成27年3月31日現在) |
|---------------|----|--------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | | | |
| 流動負債 | | 51,989 | 50,688 | 44,281 |
| 支払手形及び買掛金 | | 22,868 | 23,911 | 18,860 |
| 電子記録債務 | | 50 | — | 18 |
| 短期借入金 | | 22,800 | 20,635 | 18,710 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | | 1,616 | 1,766 | 1,662 |
| 未払法人税等 | | 343 | 182 | 561 |
| 賞与引当金 | | 614 | 621 | 647 |
| その他 | | 3,695 | 3,570 | 3,821 |
| 固定負債 | | 10,806 | 11,024 | 10,840 |
| 長期借入金 | | 5,881 | 6,064 | 6,156 |
| 退職給付に係る負債 | | 2,182 | 2,381 | 1,717 |
| 役員退職慰労引当金 | | 102 | 76 | 89 |
| その他 | | 2,640 | 2,500 | 2,876 |
| 負債合計 | | 62,796 | 61,712 | 55,121 |
| 純資産の部 | | | | |
| 株主資本 | | 16,925 | 15,750 | 16,923 |
| 資本金 | | 6,495 | 6,495 | 6,495 |
| 資本剰余金 | | 6,090 | 6,090 | 6,090 |
| 利益剰余金 | | 4,474 | 3,332 | 4,489 |
| 自己株式 | | △ 135 | △ 167 | △ 151 |
| その他の包括利益累計額 | | 1,465 | 673 | 1,441 |
| その他有価証券評価差額金 | | 1,508 | 1,057 | 1,418 |
| 繰延ヘッジ損益 | | △ 2 | △ 1 | 10 |
| 土地再評価差額金 | | △ 372 | △ 337 | △ 372 |
| 退職給付に係る調整累計額 | | 331 | △ 44 | 383 |
| 純資産合計 | | 18,390 | 16,424 | 18,364 |
| 負債純資産合計 | | 81,187 | 78,137 | 73,486 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当第2四半期 | 前第2四半期 | 前 期 |
|---------------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) |
| 売上高 | | 156,614 | 154,666 | 324,463 |
| 売上原価 | | 145,737 | 144,402 | 302,473 |
| 売上総利益 | | 10,877 | 10,264 | 21,990 |
| 販売費及び一般管理費 | | 10,453 | 10,153 | 20,823 |
| 営業利益 | | 423 | 111 | 1,166 |
| 営業外収益 | | 279 | 235 | 446 |
| 受取利息 | | 0 | 2 | 3 |
| 受取配当金 | | 86 | 88 | 124 |
| 補助金収入 | | 77 | 28 | 63 |
| その他 | | 115 | 116 | 255 |
| 営業外費用 | | 156 | 163 | 328 |
| 支払利息 | | 141 | 139 | 292 |
| その他 | | 15 | 23 | 36 |
| 経常利益 | | 547 | 183 | 1,284 |
| 特別利益 | | 153 | — | 26 |
| 投資有価証券売却益 | | 153 | — | 26 |
| 特別損失 | | 19 | 11 | 137 |
| 投資有価証券評価損 | | 19 | — | — |
| 事務所移転費用 | | — | 11 | 22 |
| 減損損失 | | — | — | 106 |
| 固定資産売却損 | | — | — | 9 |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | | 681 | 172 | 1,173 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 370 | 180 | 588 |
| 法人税等調整額 | | 7 | 79 | △ 415 |
| 法人税等合計 | | 378 | 259 | 173 |
| 四半期(当期)純利益(△損失) | | 303 | △ 87 | 999 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失) | | 303 | △ 87 | 999 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当第2四半期 | 前第2四半期 | 前 期 |
|---------------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日) |
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | | △ 2,957 | △ 2,453 | △ 71 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △ 443 | △ 506 | △ 706 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | | 3,211 | 3,197 | 858 |
| IV. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | | △ 189 | 237 | 80 |
| V. 現金及び現金同等物の期首残高 | | 2,049 | 1,966 | 1,966 |
| VI. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | | 100 | 2 | 2 |
| VII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 | | 1,961 | 2,206 | 2,049 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)
資本金 6,495百万円
発行済株式総数 55,622,921株
従業員数 連結 1,316名 単独 34名

役員 の 体制

| | | |
|------|---------|--------------|
| 取締役 | 代表取締役社長 | 谷川正俊 |
| 取締役 | 取締役 | 増田安利 |
| 取締役 | 取締役 | 三輪光幸 |
| 取締役 | 取締役 | 勝田昇 |
| 取締役 | 取締役 | 角田晴夫 |
| 取締役 | 取締役 | 三浦正晴 (社外取締役) |
| 監査役 | 常勤監査役 | 玉田耕也 |
| 監査役 | 監査役 | 富田英孝 (社外監査役) |
| 監査役 | 監査役 | 和田徹 (社外監査役) |
| 監査役 | 監査役 | 伊藤博通 (社外監査役) |
| 執行役員 | 常務執行役員 | 中江一夫 |
| 執行役員 | 執行役員 | 岡田雅之 |

株式の状況

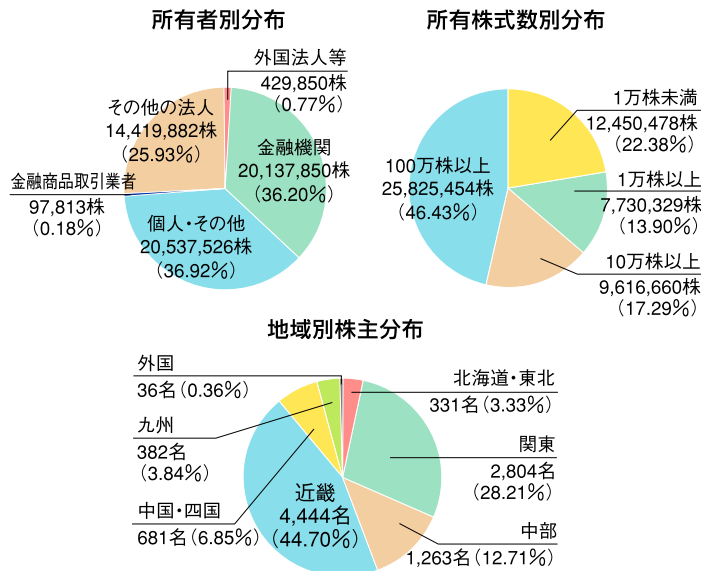
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 209,159,000株 |
| 発行済株式の総数 | 55,622,921株 |
| 株主数 | 9,941名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------------------------------------------------------|---------|---------|
| マルハニチロ株式会社 | 7,450 | 13.41 |
| 日本生命保険相互会社 | 3,312 | 5.96 |
| 農林中央金庫 | 2,636 | 4.75 |
| 株式会社みずほ銀行 | 2,000 | 3.60 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,842 | 3.32 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,742 | 3.14 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 1,519 | 2.73 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口) | 1,150 | 2.07 |
| 丸大食品株式会社 | 1,150 | 2.07 |
| OUGグループ従業員持株会 | 1,019 | 1.84 |

(注) 持株比率は、自己株式(77,586株)を控除して計算しております。
 なお、従業員持株ESOP信託として保有する当社株式(645,000株)は、当該自己株式には含めておりません。

株式分布



■ 加工施設のリニューアルで衛生管理を強化、生産・品質管理がさらに充実！

ダイワサミット株式会社は、炊飯、寿司やおにぎりなどの米飯加工・販売を行っております。同社は、HACCP認定を取得した生産ライン(全自動炊飯システム)を365日、24時間稼働させ、一貫した生産管理により、安全・安心な製品をお客様に提供しております。

同社は、より美味しい製品をお客様にお届けするため、販売店での販売時間を考慮した、最適なタイミングで加工・配送を行っております。また、その加工技術は、業界でも高い評価を受けております。

今後も同社は、美味しさを追求し、日々研究を重ね、お客様に喜ばれる製品づくりにチャレンジしていきます。



ソックダクト方式の空調システム

昨年、両社ともに加工室の施設をリニューアルしました。

加工室の壁は抗菌パネルを使用し、また、空調システムはソックダクト方式を導入し、温度ムラのないクリーンな空間を創り、衛生的な作業環境を保持しています。

※ ソックダクト方式

空調の吹出口にダクト型のアエリフィルターを装着し、空気中の落下菌等を除去し、室内を均一に冷却できます。

株式会社トウニチ水産は、お刺身用の大根のケンを主体とした野菜の加工・販売を行っております。同社は、ケンの製造に関して、最も重要とされる大根の原料調達において、産地の協力を得て季節に応じて計画的に作付を行い、高品質の大根の調達に努めております。

同社は、加工において独自の生産技術を駆使し、徹底した生産・品質管理のもと、効率性を高めるとともに、高鮮度な製品を製造しております。同社のケンは、「美味しさ」と「張り」があり、また日持ちが効き、お客様から高い評価を受けております。

今後も同社は、製品づくりにこだわりを持ち続け、お客様に喜ばれる製品をお届けしていきます。



会社概要

ダイワサミット株式会社
 事業内容：米飯加工・販売業
 所在地：大阪市此花区北港白津1丁目11番52号
 代表取締役社長：岡田 清
 設立：平成10年8月
 従業員数：82名(パートタイマー含む)
 売上高：11億円(平成27年3月期)

会社概要

株式会社 トウニチ水産
 事業内容：野菜加工・販売業
 所在地：大阪府茨木市野々宮1丁目4番50号
 代表取締役社長：西田 雄祐
 設立：昭和53年10月
 従業員数：41名(パートタイマー含む)
 売上高：6億円(平成27年3月期)

株主メモ

| | |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)<http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

| | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上場金融商品取引所 | 東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041) |
| 公告方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp |

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、優待の商品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

TOP PAGE



株主優待を
画像等で紹介
しております。

<http://www.oug.co.jp>

OGUホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

COMPANY PROFILE



GROUP について

グループ会社について
動画等で紹介しております。

